

平成22年度 高速道路無料化社会実験

[中国ブロック版]

平成22年6月15日
国土交通省中国地方整備局
NEXCO西日本中国支社

平成22年度 高速道路無料化社会実験区間について(中国ブロック)



通行料金の例

江津道路 江津IC～浜田道 大朝IC	普通車 大型車	1,750円 → 無料 (▲1,750円) 2,850円 → 無料 (▲2,850円)
浜田道 浜田IC～山陽道 広島IC	普通車 大型車	2,550円 → 1,100円(▲1,450円) 4,150円 → 1,750円(▲2,400円)
中国道 落合IC～山陽道 岡山IC	普通車 大型車	1,700円 → 600円(▲1,100円) 2,700円 → 850円(▲1,850円)

無料化社会実験による地方都市からの物流コスト引下げ:浜田市・江津市の例

- 浜田市・江津市では、どんちっち三魚、真和のアジといった特産品のブランド創出を進めています。
- 無料化社会実験により、大消費地である広島市周辺への特産品の販路拡大が期待されます。



浜田市内(浜田IC)～広島市内(広島IC)

[料金(大型車)]

①定価料金	②実験料金	①-②
4,150円	1,750円	▲2,400円

[所要時間]

①一般道 (88km)	②高速経由 (93km)	①-②
2時間3分	1時間18分	▲45分

江津市内(江津IC)～広島市内(広島IC)

[料金(大型車)]

①定価料金	②実験料金	①-②
4,950円	1,750円	▲3,200円

[所要時間]

①一般道 (110km)	②高速経由 (107km)	①-②
2時間22分	1時間30分	▲52分

無料化社会実験による観光促進:呉市中心部・島嶼部の例

広島呉道路の無料化社会実験により、特に広島都市圏からの訪問が増加し、呉市内の広域的な観光が促進されることが期待されます。

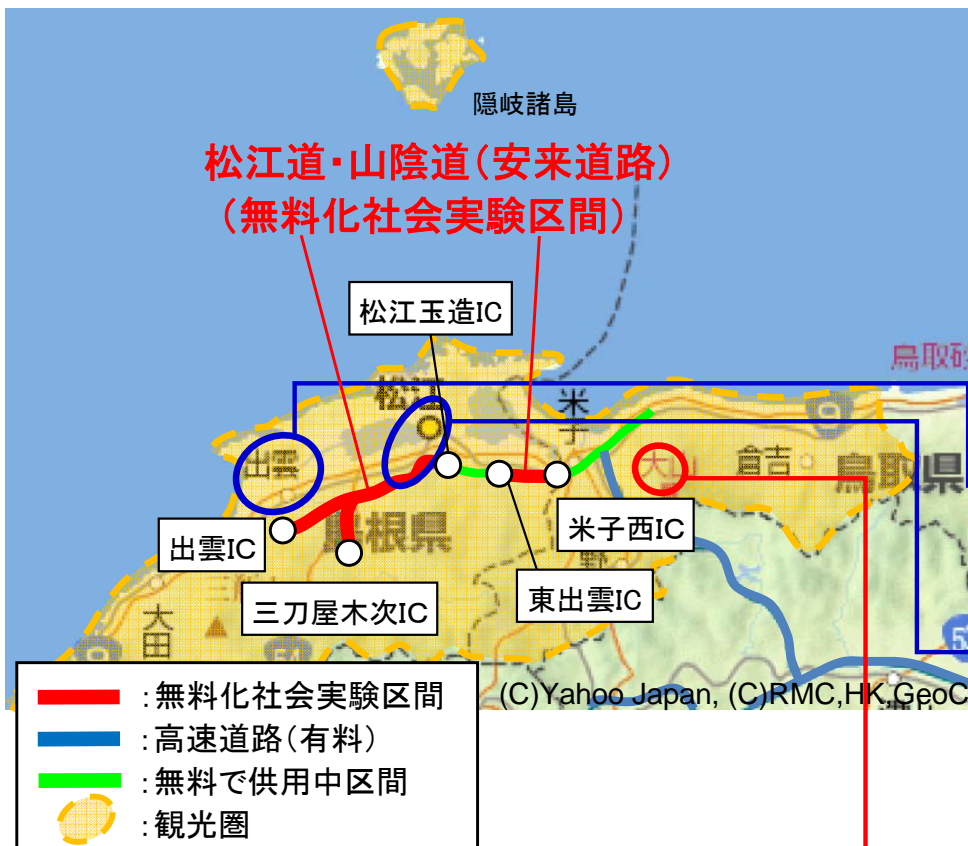


観光圏と無料化社会実験の連携:山陰文化観光圏の例

山陰文化観光圏の目標※として平均宿泊数の約10%増や、観光消費額の約6%増などが設定されており、山陰道等の無料化社会実験により、観光圏の連携が促進され、更なる効果アップが期待されます。

※平成24年までの5年間の目標

無料化社会実験による観光圏の連携促進



米子西IC～出雲IC (普通車)
定価料金: 1,700円 ⇒ 実験料金: 0円

山陰文化観光圏 『ご縁で結ばれる、感動の旅』

- 地域の課題
県境を越えた一体的な情報発信や広域での観光客受入体制及び公共交通機関や道路、港湾、空港など社会資本整備が必ずしも十分でない
- 観光圏のイメージ
—自然、神秘性・環境、歴史文化、癒し・スポーツ、食—
多様性のある「神々のふるさと」への旅

「出雲大社地区」

出雲大社近くで博物館も近隣にあり、門前町の風情と文化的雰囲気味わえる

「松江しんじ湖温泉地区」

風光明媚な宍道湖を望む宿泊施設集積地

「玉造温泉地区」

歴史ある温泉地であり、施設、知名度とも高水準

「大山地区」

自然観光の中心である大山山麓の主な宿泊施設群

無料化社会実験で期待される効果：並行する一般道の渋滞緩和 [安来道路の例]

安来道路への転換が促進されることで、国道9号の渋滞緩和や所要時間の短縮が期待されます。



- : 無料化社会実験区間
- : 無料で供用中区間
- : 並行一般道
- : 並行一般道の混雑多発箇所

安来道路 東出雲IC～米子西IC	
【普通車料金】	【所要時間】
定価料金：650円	国道9号：31分
実験料金：0円	安来道路：18分



島根県八束郡東出雲町(五反田交差点)

国道9号の現況と期待される効果(五反田交差点)

